

東大阪市「産学連携事業」

アイズドリンクシュガー

近畿大学との産学連携プロジェクトとして、演習授業で制作されたパッケージデザイン。

個包装には、9種類のシロクマのイラストバリエーションが展開されている。

株式会社フォレストパックス



文芸学部 文化デザイン学科 柳橋 肇

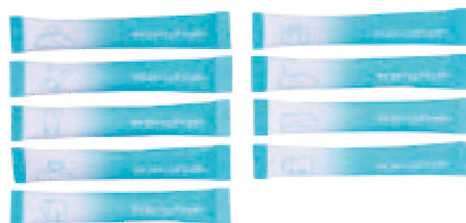


株式会社フォレストパックス
代表取締役
森 秀樹様

企業様の声

株式会社フォレストパックスでは、近畿大学文芸学部文化デザイン学科の学生の皆さんと共に、「アイズドリンクシュガー」の一般家庭向けパッケージ開発に取り組みました。今回が当社として初めての産学官連携でしたが、学生の皆さんからご提案いただいた多彩なデザインやアイデアは、私たちにとって非常に新鮮で、大きな刺激となりました。当社では以前から、「冷たい飲み物にもすぐ溶ける砂糖」を紙包装にすることによる脱プラスチック化といった取り組みを進めていましたが、学生の皆さんの自由な発想を通じて、「環境に配慮した商品をより分かりやすく伝えること」の大切さを改めて感じました。普段、社内だけでは出てこない視点や表現方法に触れることで、新しい発見も多くありました。提案いただいた複数のデザイン案の中か

ら選考を行い、完成した商品は大阪・関西万博で展示される機会にもつながりました。今回の経験を通じて、中小企業でも大学や行政と連携することで、新たな価値や可能性を生み出せることを実感しています。今後もこうした取り組みに積極的に挑戦していきたいと考えています。



個装パッケージは9種類のデザインバリエーションが展開されています。



1

東大阪市
「産学連携事業」申込

2

研究者との
マッチング

3

研
究

4

商品
化